

スピード落とし事故撲滅

札幌建協が交通安全街頭啓発

札幌建設業協会(岩田圭剛会長)は6月30日、東区内で地域住民と共に交通安全街頭啓発を実施した。参加者は交通安全旗をなびかせ、道行くドライバーに交通事故撲滅を呼び掛けた。

着工期と追い込み期における「建設産業交通事故防止総ぐるみ運動」の一環。地域の建設業として地元根差した活動を積極的に進めるため、2013年から各区で街頭啓発を展開している。今回は会員企業から46社100人、東区交通安全運動推進委員会から中沢文勝事務局長ら23人の計126人が参加。札幌東警察署の岩城一也交通

・安心な社会を築こうと訴えた。



出発式で交通安全対策委員会の竹田邦治委員長は「力を結集し、大きな成果が上がるよう頑張ろう。交通事故のない安全

道道札幌環状線と市道真駒内橋路線の交差点に移動し、交通安全旗による波で、ドライバーと歩行者に交通ルールの順守を呼び掛けた。

ドライバーへ安全運転を促した

道道札幌環状線と市道真駒内橋路線の交差点に移動し、交通安全旗による波で、ドライバーと歩行者に交通ルールの順守を呼び掛けた。

130人が強くアピール

札建協が交通安全街頭啓発

地元団体と連携し「旗の波」



一般社団法人札幌建設業協会(岩田幸剛会長)は六月三十日、札幌市東区の北十五条東七丁目道道交差点で交通安全街頭啓発を実施した。地元の関係団体と連携し、約百三十人がのぼりや手旗による「旗の波」活動を展開。ドライバーに、交通安全を強くアピールした。写真。

街頭啓発は毎年、工事着工期の六月と追込期の十月に実施。従来は市内中心部で行っていたが、昨年度からは実効性を高めようと、郊外に活動の場を拡大した。加えて、地域の交通安全関係団体との連携・協力も試みた。

本年度も、昨年度の内容を継続する形で実施。今回は、東区交通安全運動推進委員会(中沢文勝代表)、東区北光地区交通安全運動推進委員会(池田隆一代表)と共同で活動することとし、会員企業

四十六社から百人余り、地元の一団体から二十人余りの総勢約百三十人が参加した。
東区民セン
ターで出発式が行われ、札建協交通安全対策委

員会の竹田邦治委員長があいさつ。二団体の協力で謝意を示しながら、「交通事故の撲滅に少しでも役立てる活動にしていこう」とし、参加者に協力を呼びかけた。

来賓として出席した札幌東警察署の岩城一也交通第一課長は、ことしに入り交通事故が減少していることに言及。啓発活動の効果を強調し、今後の取組に期待を寄せた。

このあと、一行は揃いのベストを着て現地に移動し、のぼりや手旗による「旗の波」活動を展開。歩道に並んで、ドライバーに安全運転を訴えた。